

# OG キャリアインタビュー

佐野 双美 (さの ふたみ)

東京理科大学 理学部一部 応用物理学科 卒業

同大学理学研究科 応用物理学 専攻修士課程 修了(大川研)

昭和シェル石油に入社し、現在社会人1年目



就職状況があまり良くないと言われるこのご時世でも、就活で成功を収める人は少なからずいる。良い結果が出る人とそうでない人の間には、いったいどういった違いがあるのか。学生時代に培ってきたこと、エントリーシートや面接での作法など色々と考えられるが、一番の違いは情報の量だろう。就職関連の情報は、本やインターネットで探すだけでもたくさん得ることはできるが、成功した人に直接聞くことも良い方法である。そこで実際に理科大のOGにお会いし、就活における成功の秘訣を聞いてみることにした。

今回は、昭和シェル石油に就職した佐野双美さんに取材をさせて頂いた。

**Q** 佐野さんは大学時代どのような事をされていましたか。

**A** 部活は洋弓部に在籍して、週3、4日ほど練習していました。また、女子主務という役割に就き、部員の日程を調整して、他大学との練習試合の申し込むといったマネージャーのような仕事をしていました。また、先輩の指導体制を整えるなど、部活には力を入れていましたね。アルバイトは結婚式の料理の配膳係をやっていました。土日は土曜の午前中にアーチェリーの全体練習をして、他の時間はアルバイトに行っていました。大学の専攻は再生可能エネルギーで、光触媒に関する研究をしていました。

**Q** 大学院での生活はどのようなものでしたか。

**A** 4月から授業と同時に研究もスタートします。9月、10月に学会で発表があるため、5月くらいから準備を始めなければなりません。4月から6月までは研究をしながら授業に出席していて、とても大変でした。10月からは就職活動が始まりますが、その間に研究の中間発表があり、修士2年の2月上旬に研究発表と論文提出がありました。授業やTAなど時間を取られる事が多く、研究に費やせる時間は結構少なかったですね。学会参加ですが、私は国内の学会に2回、国際学会に1回出席しました。国際学会では英語ができませんと話にならないので、大学院に入ってから英会話教室に通いはじめました。

**Q** 就活のスケジュールはどのようなものでしたか。

**A** 修士1年の10月にリクナビなどの就職サイトに登録をして、セミナーや説明会などで情報を集め始めました。11月から本エントリーが始まり、12月からエントリーシートを提出し始めました。また、1月から筆記

**Q** 部活やアルバイトにどのような影響がありましたか。

**A** 洋弓部は部員100人以上の大部隊で、上下関係が厳格に立っていました。また、多くの部員が7、8人で、試合に出るだけでも大変でした。そのため練習のモチベーションを

**Q** 大学在籍中にやってきた事を就活に活かしてきましたか。

**A** 私は活かしてきましたね。会社によつては部活もアルバイトも面接中にアピールポイントとして話すことができましたし、昭和シェル石油では大学4年から修士2年までの3年間研究していた光触媒について話すことができました。

**Q** 企業研究はどのようにされましたか。

**A** まず企業のホームページを見ました。大体の事はそこに書いてありましたが、その後説明会出席して、気になったところは質問しました。

**Q** 今就職が厳しい状況だとよく言われていますが、その影響は感じましたか。

**A** 私の同期の多くは大手企業に入社できていたのに、体感としてはそれほど感じませんでした。ただ、学部の子達は大変そうだなと感じたのを憶えています。

**Q** 面接を受ける時はどんな心構えで臨まれましたか。

**A** 自信をもってはきはきと発言し、ネガティブ発言を絶対にしないことを心がけました。あとは自分のアピールポイントをばらばら別の話をした後で、明確にし、できるだけ簡潔に自己紹介することを考えました。アピールポイントは会社によつて変わるので、部活やアルバイトの経験のアピールすることもありました。昭和シェル石油では私が新エネルギー開発に興味があり、大学での研究がどのようなもので、どういう研究を続けていきたいという感じで面接をしました。ただ面接の時は前日から

**Q** 面接で答えにくい質問をされたことはありませんか。

**A** ありません。一度『あなたの失敗を語ってください』という質問をされたことがありますが、その時に『人と話している時に勘違いをされる事が時々ある』とネガティブな発言をしてしまいました。その面接は落とされましたので、もしかしたらそれが原因かもしれないですね。今考えれば、何か失敗談の後にその分析をして、それからどういう事に気を付けているかを言えば良かったのかなと思います。

**Q** 面接をしていて、面白いなと思った質問はどのようなものがありましたか。

**A** 『親友と言える人は何人いますか。』と聞かれ、『7人です』と答えた後、『その7人全員を紹介してください』といわれ、紹介しました。そして、『別の話をした後で、明確にし、できるだけ簡潔に自己紹介することを考えました。アピールポイントは会社によつて変わるので、部活やアルバイトの経験のアピールすることもありました。昭和シェル石油では私が新エネルギー開発に興味があり、大学での研究がどのようなもので、どういう研究を続けていきたいという感じで面接をしました。ただ面接の時は前日から

**Q** 就活中辛いと感じたことはありますか。

**A** 具体的な辛いと感じたことはなかったですね。面接に堂々と接する上で大事だと思うことを伝えるとしたら、何かありますか。

**Q** 理科大生に、就活をする上で大事だと思うことを伝えるとしたら、何かありますか。

**A** 自分一人で就活をしないことだと思います。周りの人間を巻き込むことが大切じゃないかなと。友達と一緒に就活することでモチベーションを保つことができました。また、エントリーシートは同期の友達や先輩に見せて添削してもらい、面接対策も友達や先輩に協力してもらって模擬面接を何度も繰り返しましたね。そうやって自信を付けたことで、面接に堂々と接する上で大事だと思うことを伝えるとしたら、何かありますか。

発電などのエネルギーを取り扱う企業を志望していましたが、昭和シェル石油はもともエネルギー関連を取り扱う企業です。特に最近では新エネルギーの開発に力を入れていると知ったので、面接でも自分が研究した光触媒作用を用いた水素合成の研究を積極的にアピールしました。

**Q** エントリーシートを書く上で、どんなことに気を遣われましたか。

**A** まず、色々の対策本を読んで対策をしていました。最初はごちゃごちゃと色んな事を書いていましたが、読んでもらおう人に見てもらおうと、簡潔に1つの事を書いた方がいいという結論にたどり着きました。企業によつて多少アピールポイントが変わりますが、自分がアピールしたいことを前面に押し出す感じですかね。提出する前には3、4人以上の先輩方や友達に客観的に見てもらい、添削をしてもらいました。

**Q** エントリーシートの選考の通過状況をお聞きしてもいいですか。

**A** 14社に提出して、通過しなかったのは2社だけでした。比較的理科大は通りやすいのではないかと思います。

**Q** 今就職が厳しい状況だとよく言われていますが、その影響は感じましたか。

**A** 私の同期の多くは大手企業に入社できていたのに、体感としてはそれほど感じませんでした。ただ、学部の子達は大変そうだなと感じたのを憶えています。

上手く保ち続けることで、就活においても根性がついたかなと思います。女子主務という役割を通してマネージメント能力も身につけられました。何よりも大きかったのは友達が多く出たことですかね。お互いに励まし合って就活に臨むことができました。

**Q** 大学院生と学部生の就活における違いは何だと思いますか。

**A** 企業からの需要が違うかもしれないですね。院生はまず、専門性を磨いてきたかということ企業に見られる気がします。それがきちんと企業の中で活かせるのかどうか。学部生は専門性でその差はでないで、大学での勉強の内容や成績よりも人格面が問われているように思います。

**Q** 面接を受ける時はどんな心構えで臨まれましたか。

**A** 自信をもってはきはきと発言し、ネガティブ発言を絶対にしないことを心がけました。あとは自分のアピールポイントをばらばら別の話をした後で、明確にし、できるだけ簡潔に自己紹介することを考えました。アピールポイントは会社によつて変わるので、部活やアルバイトの経験のアピールすることもありました。昭和シェル石油では私が新エネルギー開発に興味があり、大学での研究がどのようなもので、どういう研究を続けていきたいという感じで面接をしました。ただ面接の時は前日から

就活において重要な事は何か、見つけることができたでしょうか。就職難とされている中でも、きちんと自分のすべきことを見つけ、真摯な態度で取り組めば就活で成功を収めることができるのである。インタビューでの解答は、専攻分野や業界が違っても役に立つことは多いはずだ。まだまだ知りたいことがある人は就活に先だって身近な先輩や就職課に様々な質問をぶつけてみるという。これから就活をしようとする人には、しっかりと情報を集め、自信を持って取り組んで欲しい。

**Q** 面接で答えにくい質問をされたことはありませんか。

**A** ありません。一度『あなたの失敗を語ってください』という質問をされたことがありますが、その時に『人と話している時に勘違いをされる事が時々ある』とネガティブな発言をしてしまいました。その面接は落とされましたので、もしかしたらそれが原因かもしれないですね。今考えれば、何か失敗談の後にその分析をして、それからどういう事に気を付けているかを言えば良かったのかなと思います。

**Q** 面接をしていて、面白いなと思った質問はどのようなものがありましたか。

**A** 『親友と言える人は何人いますか。』と聞かれ、『7人です』と答えた後、『その7人全員を紹介してください』といわれ、紹介しました。そして、『別の話をした後で、明確にし、できるだけ簡潔に自己紹介することを考えました。アピールポイントは会社によつて変わるので、部活やアルバイトの経験のアピールすることもありました。昭和シェル石油では私が新エネルギー開発に興味があり、大学での研究がどのようなもので、どういう研究を続けていきたいという感じで面接をしました。ただ面接の時は前日から

**Q** 面接を受ける時はどんな心構えで臨まれましたか。

**A** 自信をもってはきはきと発言し、ネガティブ発言を絶対にしないことを心がけました。あとは自分のアピールポイントをばらばら別の話をした後で、明確にし、できるだけ簡潔に自己紹介することを考えました。アピールポイントは会社によつて変わるので、部活やアルバイトの経験のアピールすることもありました。昭和シェル石油では私が新エネルギー開発に興味があり、大学での研究がどのようなもので、どういう研究を続けていきたいという感じで面接をしました。ただ面接の時は前日から

**Q** 面接中辛いと感じたことはありますか。

**A** 具体的な辛いと感じたことはなかったですね。面接に堂々と接する上で大事だと思うことを伝えるとしたら、何かありますか。

**Q** 理科大生に、就活をする上で大事だと思うことを伝えるとしたら、何かありますか。

**A** 自分一人で就活をしないことだと思います。周りの人間を巻き込むことが大切じゃないかなと。友達と一緒に就活することでモチベーションを保つことができました。また、エントリーシートは同期の友達や先輩に見せて添削してもらい、面接対策も友達や先輩に協力してもらって模擬面接を何度も繰り返しましたね。そうやって自信を付けたことで、面接に堂々と接する上で大事だと思うことを伝えるとしたら、何かありますか。

就活において重要な事は何か、見つけることができたでしょうか。就職難とされている中でも、きちんと自分のすべきことを見つけ、真摯な態度で取り組めば就活で成功を収めることができるのである。インタビューでの解答は、専攻分野や業界が違っても役に立つことは多いはずだ。まだまだ知りたいことがある人は就活に先だって身近な先輩や就職課に様々な質問をぶつけてみるという。これから就活をしようとする人には、しっかりと情報を集め、自信を持って取り組んで欲しい。

就活において重要な事は何か、見つけることができたでしょうか。就職難とされている中でも、きちんと自分のすべきことを見つけ、真摯な態度で取り組めば就活で成功を収めることができるのである。インタビューでの解答は、専攻分野や業界が違っても役に立つことは多いはずだ。まだまだ知りたいことがある人は就活に先だって身近な先輩や就職課に様々な質問をぶつけてみるという。これから就活をしようとする人には、しっかりと情報を集め、自信を持って取り組んで欲しい。